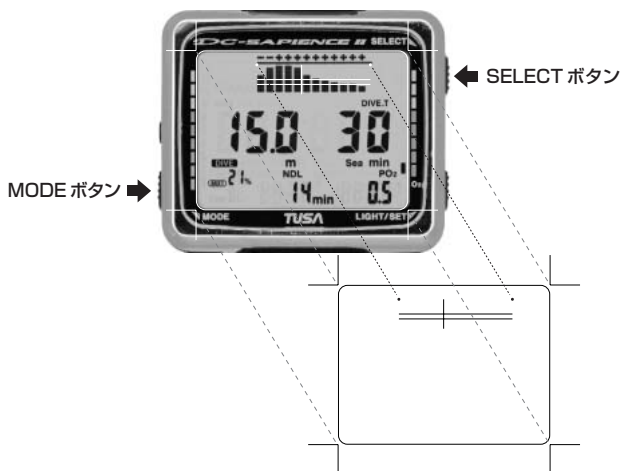


セーフティ・ラインシールの貼り方

IQ-850にはバーグラフデータを見やすくするセーフティ・ラインシールが5枚付属しています。シールは下記の手順で貼ることができます。シールを貼ると、セーフティ・ラインが分かりやすくなりますが、ドット表示自体は少し見づらくなりますので、お好みに応じてご活用ください。ドット表示に慣れてくるまで、貼ることをおすすめします。



貼り方

- ① 製品本体からレンズプロテクターを外してください。
- ② IQ-850は、出荷時点で全数を圧力チャンバテストにかけるので、ログデータ上に体内窒素バーグラフが記録されています。MODE ボタンを押していった、ログ/プロフィールモードを表示させ、SELECT ボタン1回押します。すると、ログデータ上にテスト時の体内窒素バーグラフが表示されます。
- ③ シールの四角い外枠を示す白色ケイ線と、IQ-850の画面の黒い枠を合わせつつ、減圧潜水切り替わりライン（バーグラフの100%ライン）の両端にセーフティ・ラインシールの2つの白色のドット（点）が重なり合うように貼ってください。
- ④ 貼り終わったら、レンズプロテクターを元の位置にはめ直してください。しっかりはまっていないと、使用中に脱落することがあります。画面方向に押さえつつ、プロテクターのツメが本体にしっかりとかかるように、脇からパチンと音がするまで指で押してください。

セーフティ・ラインの説明

- 上の白色横ラインは、減圧不要限界 (M 値) に対して 50% の体内窒素量のラインを示します。減圧症予防の観点から、TUSA では当日の (反復) 潜水終了時点で、右から4つ目までの遅いコンパートメントがこのラインを超えないようにダイビングすることをおすすめします。
 - 下の白色横ラインは、減圧不要限界 (M 値) に対して約 33% の体内窒素量のラインを示します。また白色縦ラインは左から5番目と6番目のコンパートメントの仕切りを示します。減圧症予防の観点から、TUSA では潜水終了後に標高300m 以上の高所移動 (山越え) をする場合は、その時点で最も窒素量が多い (遅い) コンパートメントが33%以下になっていて、かつ左から5つ目までのコンパートメントのバーグラフがゼロになってからすることをおすすめします。
- ※飛行機搭乗の際は全てのバーグラフがゼロになっている必要があります。